環境活動の取り組み

～できることから続けよう～

高崎市立片岡小学校

1.　取り組みの概要

片岡小学校は、白衣観音の麓に位置しており、児童は自然に触れ合う機会が多い。本校では、JRC 環境委員会・園芸委員会が中心となり、PTA と協力しながら環境活動に取り組んでいる。

JRC 環境委員会はペットボトルキャップの収集や校内の環境整備を行い、園芸委員会は花壇やプランターに花や球根を植えている。

2.　令和７年度の活動内容

＜JRC 環境委員会＞

①　ペットボトルキャップ回収

低学年と高学年の玄関の２カ所にペットボトルキャップ回収ボックスを設置し、児童を介して、家庭にあるペットボトルキャップを常時回収してきた。集めたペットボトルのキャップは委員会の時間に、JRC 環境委員がエコキャップ回収箱から回収し、ペットボトルキャップ以外のキャップが入っていないか。チェックを行った。その後、指定業者へ渡し、ポリオワクチンに換えて発展途上国の子どもたちへ寄付した。

②　KMT（片小見守り隊）の活動

片岡小校内の環境をより安全に、よりきれいにし、全校児童がけがや事故なく気持ちよく学校生活を送ることができるようにするために、KMT（片小見守り隊）を結成した。週に２回、数人のグループで、「KMT」と書かれた手作りのたすきを着けて、活動してきた。委員会の時間に JRC 環境委員が考えを出し合い、「ストップ 10！」（走ってしまったら 10 秒止まろう）という合言葉を作り、廊下を走っている児童への呼びかけを行ってきた。さらに、JRC 環境委員が安全に生活できている児童が多かった学級を学級担任へ報告したり、給食時の放送で発表し、一人一人の学校環境・安全への意識を高めることができた。KMT の活動を通して、ケガの件数が減ってきているので、今後も続けていきたい。

＜園芸委員会＞

PTA との活動

5 月・10 月・1 月に、PTA の方々に協力していただき、園芸委員会の児童たちが花壇やプランターに花の苗を植えた。曜日ごとに水やりや草むしり当番を決めて一生懸命に世話をしてきた。色とりどりのきれいな花を大切に育てて、緑多い学校を目指している。

＜その他＞

・年に一回朝活動の時間に校庭整美として、全校児童で校庭のごみ拾い、石拾い、草むしりを行っている。

・掃除で水拭きを行う際は、水のむだをなくすためにバケツを使用している。

・使っていない教室やトイレの明かりを消したり、扇風機とエアコンを併用したりして、電気の使用量を減らし、全校で節電を心がけている。

3. 取り組みの見直し及び今後の活動

児童たちが環境教育を通して身近なことからコツコツと多様な環境活動に取り組んできた。これらの活動を来年度にも引き継ぎ、児童が主体となって、よりよい片岡小学校を築いていけるようにしたい。